

# GREEN TEA EXTRACT

## GREEN TEA PE

### 緑茶抽出物

#### ● GREEN TEA PE とは

農薬を使用せずに栽培した茶葉を抽出し、エキス末にしました。乾燥葉換算で約20倍に有効成分が濃縮されています。緑茶にはポリフェノール（カテキン）が豊富に含まれており、様々な機能性を有することが報告されています。食品としてはもちろん、食品添加物（酸化防止剤）としてもご使用できます。



#### ● 期待できる効果

##### 体脂肪低減作用

機能性表示対応

消化酵素である膵リパーゼを阻害し、腸管からの脂質吸収を抑制します。また、 $\beta$ 酸化活性により脂肪の分解・燃焼が亢進され、エネルギー消費を促進します。

その他、期待出来る効果：

- ・ 抜け毛予防（ $5\alpha$ -リダクターゼ阻害）
- ・ 抗がん作用
- ・ 抗酸化作用
- ・ 血圧降下作用

#### ● ダイエット効果（臨床試験）

Food Funct. 2016; 7(1): 498-507.

【茶カテキンを配合した飲料での試験】

被験者：20～65歳の男女126名（BMI 25以上30 kg/m<sup>2</sup>未満）

摂取量：茶カテキン低用量摂取群（Low）…149.5 mg（500 mL/本）（42人）

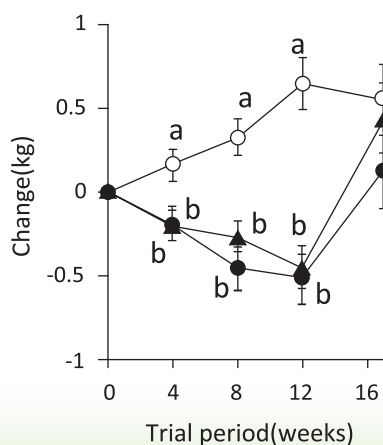
茶カテキン高用量摂取群（High）…246.5 mg（500 mL/本）（42人）

プラセボ群 …（40人）

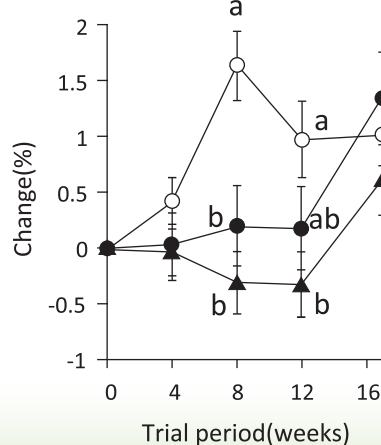
評価方法：最も脂肪が多い食事に1日に1本を12週間摂取し、体組成を測定。

○ プラセボ(40人)  
▲ Low (42人)  
● High (42人)

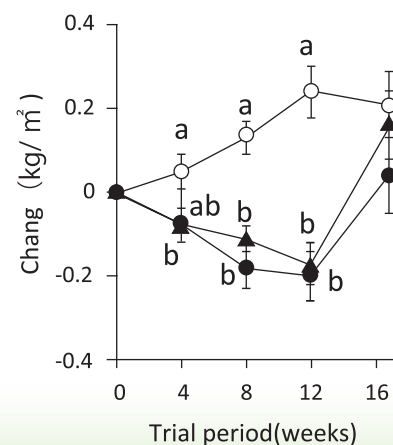
##### 体重の変化量 (kg)



##### 体脂肪率の変化量 (%)



##### BMI の変化量 (kg/m<sup>2</sup>)



# GREEN TEA EXTRACT

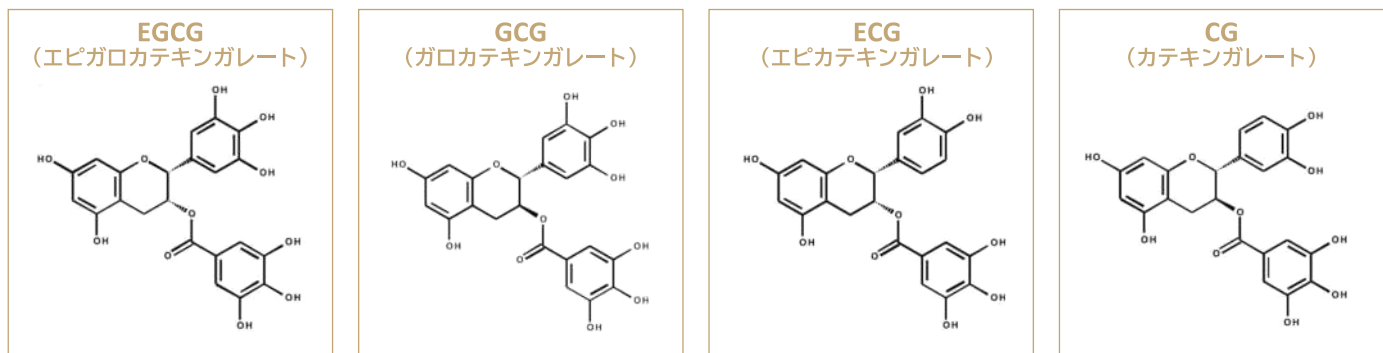
## ●機能性表示受理実績について

機能性の科学的根拠は、システマティックレビュー（SR）によりまとめています。

関与成分	①茶カテキン（ガレート型カテキンとして） ②ガレート型カテキン	どちらの関与成分でも問題ありません。 ②の場合は定性分析が不要です。
必要配合量	関与成分として：150mg/日以上 原料として：250mg/日以上	
ヘルスクレーム	本品には茶カテキン（ガレート型カテキンとして）が含まれます。 茶カテキン（ガレート型カテキンとして）には、肥満気味の方のお腹まわりの脂肪（内臓脂肪、皮下脂肪）、体重を減らすことで、高めのBMIを低下させる機能があることが報告されています。	

## ●機能性表示食品における関与成分

関与成分は以下4種類のカレート型カテキンです。



## ●製品規格

### GREEN TEA PE

項目	規格
外観性状	淡黄～黒褐色の粉末 わずかに特異な臭いを有する
水分	5.0%以下
ポリフェノール	98%以上 ※
カテキン類 (エピガロカテキンガレート)	80%以上 ※ (50%以上) ※
ガレート型カテキン (EGCg + GCg + ECg + Cg)	60%以上
カフェイン	0.5%以下
重金属 (Pb)	20ppm以下
ヒ素 (As <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )	2ppm以下
一般生菌数	1,000個/g以下
大腸菌群	陰性

### 製品情報

アレルギー表示	必要無し
遺伝子組み換え	遺伝子組み換えでない
動物由来原料	使用していない
原材料表示例	◆食品原料として使用の場合： 「チャ抽出物、緑茶抽出物」 ◆酸化防止剤として使用の場合： 「酸化防止剤（緑茶抽出物）」
推奨摂取量	250 mg ~ 500 mg / 日

- ◆包装……………1kg～
- ◆包装形態……………ファイバードラム
- ◆保管方法……………冷暗所、湿度の低いところで保存してください。
- ◆品質保証期間…製造後、3年（ただし、未開封の状態）
- ◆品質管理……………ロット毎に製品検査

※乾燥重量あたり

2024/03版

